

2021年度事業報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター

1 事業の成果

2021年度は、2020年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止への対応を迫られた一年であった。

感染状況に応じて十分な対策を講じた上での対面方式での会議と、オンライン方式での会議の開催を組み合わせながら、会員企業の活発な交流のもとに川崎市との連携を緊密にし、「地域の環境改善への取組」、「市民活動及び他地区との交流」及び「スマートコンビナートの構築と川崎臨海部における情報発信」などを推進する活動を進めた。

リエゾン研究会については、「オンライン会議形式」で開催をし、「IoT活用」、「防災対応」、「カーボンニュートラル対応」などの会員企業の取組事例発表に基づき相互の情報共有を図るとともに川崎市とともに臨海部ビジョン・リーディングプロジェクトに関連した取組を進めることができた。

第12回目となった「スマート・コンビナート・シンポジウム」については、Web会議形式でのライブ中継により、山口大学の稲葉和也教授による「コンビナートの現状とこれから～カーボンニュートラル、DX、地方創生～」と題する基調講演、ENEOS(株)のカーボンニュートラル実現に向けた取組(特別講演)などスマートコンビナートに向けての方向性を全国に発信した。同時に鹿島及び四日市の遠隔地からオンラインにより「カーボンニュートラルへの挑戦」及び「IoTを活用した共同取組事例」についての発表もあり、全国各地の300名を超える企業関係者や自治体関係者が参加する中で、脱炭素化に対応したコンビナート地区の今後の取組方向性について情報共有を図ることができた。

「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会」では、オンライン会議方式により、羽田連絡道路及び東扇島・水江町線の進捗状況、継続課題としての冠水対策について川崎市の道路関係部局と会員企業で活発な意見交換を行ない臨海部の環境改善に向けた取組を進めた。また、「低CO2川崎ブランド等推進協議会」に参画し川崎市が推進する「低CO2川崎ブランド認定制度」及び「川崎メカニズム認証制度」への支援活動を行った。

コロナ禍に対応した新しい形式による情報発信・広報活動にも取り組んだ。会員企業の協力もいただき、オンライン形式により夏休み親子見学会及び大人の社会科見学会を開催するとともに、Web開催となった第14回川崎国際環境技術展に出展し、市民に対して当NPOの活動内容や会員企業の環境改善に対する取組を紹介した。

11月に開催した川崎市との政策懇談会についても完全オンライン形式により開催し川崎市の臨海部施策推進担当の5局長・1本部長からの政策課題発表と理事企業6社の最近の取組事例の発表を行うなどの新しい方式での情報共有も進められた。

また、川崎市では、気候変動問題が差し迫った課題であることなどから地球温暖化対策の取組を加速化させるため、2021年11月に「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」の改定案

が提案されたが、会員企業との情報交換の機会をつくるとともに、CO2削減の企業の自主的な取り組みが反映されるような仕組みづくりなどについて働きかけを行なった。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

(定款第5条① 産業活性化及び環境保全に関わる調査・研究事業)

◎自主事業ア リエゾン交流会事業

- ・費用額 3,698円
- ・内容

「リエゾン交流視察会」は、臨海部及び関連地域での会員企業や関連企業の先進事例等について、会員相互及び行政職員との共通認識の形成を目的として視察見学会を実施してきた事業である。2021年度は、コロナ禍の影響が比較的安定していた時期に以下の交流会を対面方式で実施した。事業計画では年間3回程度の開催を予定していたが、コロナ禍での感染拡大防止の観点から次の1回のみ開催となった。

<通算第44回交流会>

(ロボット・AI活用により工場プラント等のメンテナンスをサポートするベンチャー企業等訪問)

◇視察・情報交換内容

- ◆ロボット+AIで工場・プラントや建設現場などで点検・検査、監視業務などをサポートする企業(イクシス株)からのプレゼンテーション
- ◆かわさき新産業創造センター事業概要並びにマッチング事業の紹介
- ・日時 2021年4月14日(水)
- ・場所 かわさき新産業創造センター(幸区新川崎 新川崎創造のもり)
- ・従事者人員 3人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 35人

◎自主事業イ リエゾン研究会事業

- ・費用額 14,000円
- ・内容

以下の計5回のリエゾン研究会をWeb会議形式で開催した。2021年度は、第一部は会員企業等からの話題提供、第二部は「臨海部ビジョン・リーディングプロジェクト」についての川崎市からの報告並びに意見交換を行ない、会員企業の新たな取り組みについての情報共有並びに川崎市の臨海部施策に対する意見反映を行なった。

◇第1回リエゾン研究会

話題提供企業	テーマ(会員企業の新たな取り組み)	リーディングプロジェクトの意見交換内容
東京電力パワーグリッド株	災害時の外部電源切替装置設置	「川崎カーボンニュートラル構想コンビナートについて」、

		「今年度のリエゾン研究会の進め方について」
総合警備保障(株)	IoT を活用した共同防災業務、計器監視ソリューション等	

◇第2回リエゾン研究会

話題提供企業	テーマ(会員企業の新たな取組み)	リーディングプロジェクトの意見交換内容
(株)クレハ環境	カーボンニュートラルに貢献するVOCs 排ガス処理装置 GASTAK	<ul style="list-style-type: none"> 働きたい環境づくりの交流会の進め方 地域連携 BCP(防災)とりまとめ報告

◇第3回リエゾン研究会

話題提供企業	テーマ(会員企業の新たな取組み)	リーディングプロジェクトの意見交換内容
東京ガス(株)	CO2 ネット・ゼロに向けた東京ガスグループの取組み	<ul style="list-style-type: none"> 世界に誇れる人材育成プロジェクトについて 働きたい環境づくり～共同保育所の整備～ 臨海部ビジョンの取組み推進に向けたアンケート調査について

◇第4回リエゾン研究会

話題提供企業	テーマ(会員企業の新たな取組み)	リーディングプロジェクトの意見交換内容
JFE エンジニアリング(株)	脱炭素社会に貢献する創エネ型汚泥焼却炉 (odySSEA) システムについて ～入江崎総合スラッジセンターにて採用～	<ul style="list-style-type: none"> 働きたい環境づくり～企画交流会の検討 [振り返り、今後に向けたまとめ] 次年度の研究会の進め方

◇第5回リエゾン研究会

話題提供企業	テーマ(会員企業の新たな取組み)	リーディングプロジェクトの意見交換内容
(株)浜銀総合研究所	浜銀総合研究所における企業のSDGs への取組支援	「臨海部ビジョン」リーディングプロジェクトについて

・日時

- 第1回リエゾン研究会 2021年8月27日(金)
- 第2回リエゾン研究会 2021年9月29日(水)
- 第3回リエゾン研究会 2021年12月9日(木)
- 第4回リエゾン研究会 2022年2月2日(水)

第5回リエゾン研究会 2022年3月17日(木)

- ・場所 各回とも Microsoft Teams を利用した Web による会議開催
- ・従事者人員 各回とも3人
- ・対象者 川崎市臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部 部長、課長、係長、担当職員
当 NPO 法人会員企業、専務理事、事務局
第1回は43名、第2回は25名、第3回は24名、第4回は27名、
第5回は25名が参加

(定款第5条② 産業活性化及び環境保全に関わる普及・広報事業)

◎自主事業ウ 普及・広報事業

- ・費用額 584,417円

◎ウー1 「スマートコンビナート・シンポジウム(第12回)の開催事業」

・内容

本シンポジウムはこれまで11回にわたり、鹿島、京葉、京浜をはじめ全国各地のコンビナート地域等の先進的な取組事例等を取り上げ、地域間連携や事業所間連携、産学官連携によるスマートコンビナートを目指した議論を深めてきた。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し Web 会議形式での開催とし、会議の配信映像の Web 聴講により各地コンビナートでの脱炭素化に向けた取組や IoT 活用事例など臨海部地域での先進的な取組の情報発信並びに情報共有を図った。

■基調講演

「コンビナートの現状とこれから」 ～カーボンニュートラル、DX、地方創生～
山口大学大学院技術経営研究科 稲葉和也教授

■特別講演(事例発表)

テーマ ～カーボンニュートラルに向けた地方創生とコンビナート～
講演者

(1) ENEOS 株式会社 水素事業推進部 副部長 前田征児氏

「カーボンニュートラル実現に向けた ENEOS の水素・合成燃料の取組みについて」

(2) 石油コンビナート高度統合運営技術研究組合(RING) 技術部 次長 西塚隆氏

「コンビナートにおけるカーボンリサイクルへの取組み」

(3) 茨城県政策企画部地域振興課 課長 松田慧吾氏

「鹿島臨海工業地帯におけるカーボンニュートラルへの挑戦」～CNを成長の原動力に～

(4) 四日市市 商工農水部商工課 課付主幹 水谷成綱氏

「四日市コンビナート先進化検討会の取組について」～競争力強化のための新技術の活用～

[主催] 当 NPO 法人 [共催] 川崎市

[後援] 関東経済産業局、神奈川県、茨城県、千葉県、四日市市、川崎商工会議所、
公益財団法人 川崎市産業振興財団、
石油コンビナート高度統合運営技術研究組合(RING)、(株)化学工業日報社

- ・日時 2021年10月28日(木)
- ・場所 主催者挨拶、司会進行、Web 配信機器操作を川崎市産業振興会館1階ホールで行

い、Web 会議方式で開催し中継映像を全国各地から聴講いただいた。

・従事者人員 9人

- ・対象者 リエゾンセンター会員、後援団体、市内の関係者・市民、全国各地で関心のあるコンビナート関係企業・行政機関、発表者等に聴講を働きかけ、300名以上が Web により聴講をした。

◎ウー2 「展示会等への出展事業」

・内容

a 第14回川崎国際環境技術展(オンライン開催)

「カーボンニュートラルが創る新しい川崎」をテーマとした展示会は、オンライン展示やオンラインセミナーが開催されたが、当センターのブースでは、センター事業の概要を説明する動画、「会員企業の地域貢献活動」、「会員企業の地球温暖化対策の取組」、「会員企業の低CO2川崎ブランド受賞一覧」の展示により情報発信を行なった。

- b 川崎区企業市民交流事業推進委員会主催の「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」当 NPO 法人の活動状況の紹介パネルを展示した。また、会員企業の東京ガス(株)川崎支店が「廃ガス管を使って万華鏡を作ってみよう！」の体験型プログラムを提供するとともに ENEOS(株)川崎製油所、東京ガス(株)川崎支店、東京電力パワーグリッド(株)もパネル展示により活動を紹介した。

・日時

- a 第14回川崎国際環境技術展 2021年11月16日(火)～11月26日(金)
b 「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」2021年11月23日(火)

・場所

- a 第14回川崎国際環境技術展 オンライン開催
b 「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」 川崎ルフロン(川崎区日進町1-11)

・従事者人員

- a 第14回川崎国際環境技術展 3人
b 「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」 2人

・対象者

- a 第14回川崎国際環境技術展 展示会に関心のある人
b 「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」 川崎区民及び交流 Day に関心のある人

◎ウー3 「川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会(13年目)事業」

・内容

本情報交換会は、臨海部に関連する会員情報並びに行政からの施策情報等を相互に交換し情報共有を図るとともに必要な情報を会員に提供した。

・日時

コロナ禍以前は毎月定例的に開催をしてきたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での開催は1回にとどめ、残りの各月はメールによる情報共有を行なった。

- ・場所 共有した情報についてはメール配信により全会員企業に提供した

・従事者人員 2人

・対象者

川崎市；臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部、経済労働局国際経済推進室、
環境局地球環境推進室の課長、係長、担当職員

当 NPO 法人；正副幹事長、専務理事、事務局 約 13 人

(メールによる情報共有先は会員企業 19 社と事務局及び川崎市関係部局職員 約 30 人)

◎ウー4 「会報の発行事業」

・内容

会員向けの当 NPO 法人に係る広報として、NPO 法人の活動状況、会員企業の臨海部関連情報などを提供した。

<第 40 号> 「第 69 回理事会」・「第 17 回通常総会」、「リエゾン交流会(視察会)の開催」、
「オンラインによるリエゾン研究会の開催」

<第 41 号> 「スマートコンビナート・シンポジウムの開催」、「川崎市との政策懇談会」、
「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会」

<第 42 号> 「第 70 回理事会」・「川崎市との政策懇談会」、「川崎臨海部活性化推進協議会」

・日時

<第 40 号> (2021 年 8 月 3 日発行)

<第 41 号> (2021 年 11 月 19 日発行)

<第 42 号> (2021 年 3 月 31 日発行予定)

・場所 メール配信により情報提供した

・従事者人員 2人

・対象者 法人会員(19 社)・個人会員(15 人)

川崎市；臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部、経済労働局国際経済推進室、
環境局地球環境推進室(9 人)

◎ウー5 「ホームページを通じた情報発信等事業」

・内容

ホームページを通じて、「会員企業の最新の動向」として、会員企業の事業活動に係る最新情報を発信するとともに、当 NPO 法人が実施した活動を随時掲載した。

・日時 「会員企業の最新の動向」は前月の会員企業各社のプレスリリース情報を取りまとめ翌月の第 1 週にアップロードした。その他の情報は、随時アップロードした。

・場所 当法人のホームページに掲載

・従事者人員 2人

・対象者 当法人会員企業 19 社 川崎市関係局・本部 3 機関、
臨海部に関心のある市民・企業

◎自主事業エ 研究調査事業

・費用額 3,000 円

◎エ-1 「川崎市との政策懇談会事業」

・内容

臨海部に係る川崎市の政策課題取組状況・予算措置状況等並びに会員企業の新たな課題への取組状況について、役員・会員と川崎市関係局幹部との情報共有並びに意見交換を行なった

<第1回政策懇談会>

Microsoft Teams を使用したオンライン方式による情報共有を行なった。

◇川崎市5局・1本部からの情報提供

- [環境局] 「川崎市地球温暖化推進基本計画の改定の検討状況」
- [まちづくり局] 「川崎駅周辺地区におけるまちづくり局の主な取組」
- [建設緑政局] 「多摩川スカイブリッジ(羽田連絡道路)について」
- [港湾局] 「川崎港のカーボンニュートラルに向けた取組み」
- [臨海部国際戦略本部] 「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想案の検討経過」
- [経済労働局] 「第14回川崎国際環境技術展の開催内容」

◇会員企業からの情報提供

- [株式会社浜銀総合研究所] 「企業・地域のSDGsへの取組みに対する支援」
- [ENEOS株式会社] 「製油所でのMCHの脱水素実証」
- [JFEスチール株式会社] 「カーボンニュートラルへ向けた取組み」
- [東亜石油株式会社] 「新社屋への木材活用」
「ガスタービン高温部品管理プラットフォーム導入」
- [東京ガス株式会社] 「スマートメーターの概要」
- [東京電力パワーグリッド株式会社] 「災害時の電源バックアップ対策等」

<第2回政策懇談会>

◇川崎市5局・1本部からの情報提供

- [環境局] 「令和4年度以降の主な取組みについて」
- [まちづくり局] 「川崎駅周辺地区の取組状況」
- [建設緑政局] 「多摩川スカイブリッジ(羽田連絡道路)の開通について」
「全国都市緑化かわさきフェアの開催に向けて」
- [港湾局] 「川崎港のカーボンニュートラル化に向けた取組み」
- [臨海部国際戦略本部] 「令和4年度以降の主な取組みについて」
- [経済労働局] 「かわさき産業振興プラン第3期実行プログラム(案)に基づく
市内産業の振興」

◇会員企業からの情報提供

- [JFEプラリソース株式会社] 「容器包装プラスチックのリサイクル」
- [東京ガス株式会社] 「CO₂ネット・ゼロに向けた東京ガスグループの取り組み」

・日時 第1回政策懇談会 2021年11月11日(木)

第2回政策懇談会 2022年3月29日(火)

・場所 第1回政策懇談会、第2回政策懇談会ともにMicrosoft Teams を使用したオンライン

ン方式により開催

- ・ 従事者人員 6人
- ・ 対象者 「第1回川崎市との政策懇談会事業」
リエゾンセンター役員・会員40名と川崎市関係局幹部20名
「第2回川崎市との政策懇談会事業」
リエゾンセンター役員・会員42名と川崎市関係局幹部21名

◎エ-2 「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会（通算第23回）」

- ・ 内容
臨海部付近における道路工事等の進捗状況と今年度の工事予定についての意見交換
※この懇談会は、臨海部道路を中心とする冠水問題を契機として川崎市建設緑政局の呼びかけにより2009年11月に発足した。
- ・ 日時 2021年10月20日(水)
- ・ 場所 Microsoft Teams を利用した Web による会議開催
- ・ 従事者人員 3人
- ・ 対象者 リエゾンセンター役員・会員15名と川崎市関係局幹部等20名

◎エ-3 「循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議」

- ・ 内容
「川崎市産業廃棄物処理指導計画案」並びに「川崎市地球温暖化対策推進基本計画の改定の案」等について説明及び意見交換を行なった。
※この連絡会議は、環境産業と行政との連携の推進により地球環境にやさしい持続可能なまちの実現を目的に環境局生活環境部の呼びかけにより2009年に発足した
- ・ 日時 2021年11月30日(火)
- ・ 場所 Microsoft Teams を利用した Web による会議開催
- ・ 従事者人員 2人
- ・ 対象者 リエゾンセンター役員・会員30名と川崎市関係局幹部6名

◎エ-4 「川崎市港湾整備負担金の負担対象工事説明会」

- ・ 日時 2021年10月20日(水)
- ・ 場所 Microsoft Teams を利用した Web による会議開催
- ・ 従事者人員 3人
- ・ 対象者 リエゾンセンター役員・会員15名と川崎市港湾局幹部職員2名

(定款第5条③ その他この法人の目的を達するために必要な事業)

◎受託事業ア 「川崎臨海部産学公民連携推進事業」

(受託先は川崎市臨海部国際戦略本部)

- ・ 費用額 1,008,275円
- ・ 内容 「川崎臨海部活性化推進協議会」運営等業務

(受託先は川崎市臨海部国際戦略本部)

前年度に引き続き上記協議会の事務局として2回の協議会の開催・運営を行った。

<2021 年度第 1 回川崎臨海部活性化推進協議会>

[議題]

(1) 臨海部ビジョンの進捗状況

臨海部ビジョンの進捗状況 「PJ④低炭素型インダストリーエリア構築プロジェクト」等について (川崎市臨海部国際戦略本部)

(2) リーディングプロジェクトに関する取組

【PJ②資産活用・投資促進関連】

「川崎臨海部産業競争力強化促進補助金」活用案件概要とカーボンニュートラルに向けた取組み事例紹介 (日本冶金工業株)

【PJ①新産業拠点形成関連】

SB カワスミ株式会社 本社・殿町メディカル研究所のご紹介 (SB カワスミ株)

(3) 情報提供

- ・「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議 ドローン飛行計画書検討ワーキンググループ」の取組状況
- ・多摩川スカイブリッジの整備状況
- ・東扇島水江町線の整備状況
- ・羽田空港の新飛行経路の運用状況等
- ・スマートコンビナート・シンポジウムの開催
- ・ニュースレター「KAWASAKI Coastal Area News」Vol. 26 冊子配布

<令和 2021 年度第 2 回川崎臨海部活性化推進協議会>

[議題]

(1) 臨海部ビジョンの進捗状況

- ・リーディングプロジェクトの中間評価に向けた取組み状況について

(2) リーディングプロジェクトの取組

- ・ENEOS カワサキラボのご紹介
- ・ペプチドリームのご紹介

(3) 情報提供

- ・多摩川スカイブリッジの開通に関する各報告
- ・日時

<第 1 回協議会>2021 年 10 月 11 日 (月) 14 時 30 分~16 時 30 分

<第 2 回協議会>2022 年 3 月 25 日 (金) 14 時 30 分~16 時 30 分

- ・場所 各回とも川崎市生命科学・環境研究センター1 階大会議室(川崎区殿町)
- ・従事者人員 各回とも 3 名
- ・対象者
各回とも以下のとおり

川崎臨海部立地企業及び準ずる企業・団体等、川崎臨海部地域に関わる経済・産業団体、川崎臨海部産業立地等に関わる大学研究者及び学識経験者等、川崎臨海部地域に関わる地域代表者、行政機関、

◎川崎市受託事業イ 「臨海部スマートコンビナート等情報発信・交流事業」

(受託先は川崎市経済労働局)

・費用額 1,679,260円

・内容

会員企業及び臨海部企業の環境への取組を中心とした活動の交流・広報の場として、また、川崎市の関連イベントの紹介の場として、川崎市産業振興会館 12 階の「川崎市環境・産業交流コーナー」の管理・運営を行った。

展示会での紹介として、昨年に引き続きオンライン開催となった第 14 回川崎国際環境技術展に出展し、当センターのブースでは、パネル形式の画像ファイルや動画で会員企業を中心とする臨海部企業の取組を紹介し広く広報した。ブースへのアクセス数は 111 名であった。

市民等との交流事業 については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインにより夏休みオンライン親子工場見学会並びに大人の社会科見学会を開催した。

また、ホームページを通じて会員企業及び臨海部企業の環境への取組みを中心とした活動の情報発信を行なった。

・日時

「川崎市環境・産業交流コーナー」管理運営業務

月曜日から金曜日の 10 時から 16 時の時間帯に新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで開館をした。

「第 14 回川崎国際環境技術展」 オンライン出展 2021 年 11 月 16 日(火)～11 月 26 日(金)

「市民等との交流事業」 夏休みオンライン親子工場見学会 2021 年 8 月 6 日(金)

オンライン大人の社会科見学会 2021 年 11 月 4 日(木)

「ホームページによる情報発信」 随時

・場所

「川崎市環境・産業交流コーナー」管理運営業務 川崎市産業振興会館 12 階

「第 13 回川崎国際環境技術展」 Web 開催

「市民等との交流事業」 Web 開催

「ホームページによる情報発信」 Web で発信

・従事者人員

「川崎市環境・産業交流コーナー」管理運営業務 3 人

「第 13 回川崎国際環境技術展」 2 人

「市民等との交流事業」 2 人

「ホームページによる情報発信」 1 人

・対象者

「川崎市環境・産業交流コーナー」管理運営業務 コーナーに関心のある市民・企業等

「第 13 回川崎国際環境技術展」 展示会に関心のある市民・企業等

「市民等との交流事業」 テーマに関心のある親子・市民

「ホームページによる情報発信」 臨海部に関心のある市民・企業等

◎その他事業

各種協議会、委員会等への参加

・費用額 0円

・内容

次の各種協議会、委員会等に参加し、川崎市等との連携のもと、それぞれの目的達成に向けて活動した。

◇「川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）」（事務局 川崎市環境局地球環境推進室）

[会長] 足立芳寛理事長

[理事] (34名の理事の内、会員企業が以下の5社一味の素(株)、ENEOS(株)、JFEスチール(株)、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株))

[運営委員会] 委員長 小泉専務理事

[委員] (10名の委員の内、会員企業2社一東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株))

[主な実施事業]

第10回スマートライフスタイル大賞表彰式が2021年11月18日(木)に開催された。

◇「低CO2川崎ブランド等推進協議会」

[構成団体] 川崎市産業振興財団・川崎商工会議所・当NPO

[委員長] 足立芳寛理事長（併せて審査部会委員長）

[委員] 小泉専務理事（併せて運営・推進部会委員）

[主な活動内容]

川崎市と産業支援団体等が連携し「低CO2川崎ブランド」及び「川崎メカニズム認証制度」の認定・認証を行うとともに、認定・認証製品等のより一層の普及促進を図る活動を展開した。2022年2月4日に「2021年度低CO2川崎ブランド」認定式が行われ、次の会員企業が認定を受けた。

旭化成(株) [イオン交換膜「Aciprex TM F7001」]

JFEスチール(株) [消火設備用軽量鋼管「FAST®10」]

(2009年度からの認定企業数は会員企業累計17社・33件、全市合計110件)

また、次の会員企業が「2021年度川崎メカニズム」の認証を受けた。

旭化成(株) [イオン交換膜「Aciprex TM F7001」]

◇「川崎国際環境技術展実行委員会」（事務局 川崎市経済労働局国際経済推進室）

[監事] 足立芳寛理事長

[企画部会] 当NPOの次の会員企業5社が部会メンバーとして参加した。

味の素(株)、ENEOS(株)、JFEエンジニアリング(株)、JFEスチール(株)、東京ガス(株)

◇「川崎区企業市民交流事業推進委員会」（事務局川崎区まちづくり推進部）

[委員] 長瀬事務局長、

[会員企業] 当NPOの次の会員企業6社が参加した。

味の素(株)、ENEOS(株)、JFEスチール(株)、昭和電工(株)、東京ガス(株)、

東京電力パワーグリッド(株)

◇「川崎市環境審議会地球温暖化対策基本計画改定部会」（事務局 川崎市環境局）

[臨時委員] 小泉専務理事

[主な活動内容]

川崎市地球温暖化推進基本計画の改定にあたり「川崎市環境審議会」に設置した「温暖化対策基本計画改定部会」に委員として参加し4月から10月まで延べ5回の部会に出席した。

◇「川崎港長期構想検討委員会」

[委員] 小泉専務理事 会員のENEOS(株)も委員として参加

[主な活動内容]

川崎港の今後の役割を踏まえ長期的視野に立った川崎港の将来像やその実現に向けた取組みの方向性等を検討する委員会に参加し委員会に1回出席した。

◇「当法人及び会員企業が参加するその他の主な会議」

a 京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議

[目的] 川崎臨海部のコンビナートにおいて、企業間連携による高度化の取組について検討・事業化を図ることにより高付加価値・環境共生型の産業集積をめざす。

[設置] 2008年1月

[構成員] 臨海部立地企業、経済産業省(資源エネルギー庁、関東経済産業局)、神奈川県、川崎市、横浜市、当NPO法人

[事務局] 神奈川自治振興部地域政策課、川崎市経済労働局国際経済推進室

<第1回>2021年7月2日(金) Zoomによるオンライン会議で開催

<第2回>2022年3月23日(水) Zoomによるオンライン会議で開催

b 川崎臨海部防災協議会

[目的] 東日本大震災の経験を踏まえて、川崎臨海部における災害の未然防止や発生した災害の拡大防止を図るとともに、市民及び従業員等の安全確保及び二次災害の防止、企業の事業継続性の確保などの課題について協議・検討する。

[設置] 2012年1月

[構成員] 臨海部立地企業、臨海部関連産業団体及び川崎市

会員企業から旭化成(株)、ENEOS(株)、JFEアーバンリサイクル(株)、JFEスチール(株)、クレハ環境(株)、昭和電工(株)、東亜石油(株)、富士電機(株)及び当NPO法人

[事務局] 川崎市総務企画局危機管理室、臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部

[活動概要]

地域防災力の充実・強化、防災対策の進捗状況、新型コロナウイルスに対する川崎市の対応、今後の取組等が検討され、2021年度川崎臨海部広域防災訓練(第7回目)を2022年3月18日に実施した。

<第1回> 2021年6月 新型コロナウイルス感染症 対策のため書面開催

<第2回> 日時:2021年11月25日(木)

場所:川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) 1階会議室

<2021年度川崎臨海部広域防災訓練>

日時:2021年3月18日(金)

訓練内容：地震発生時に、臨海部各島の交通が途絶したことを想定し、臨海部事業所・団体、行政間でメーリングリスト等を活用した情報伝達訓練を実施した。

- ・日時 各協議会、委員会等が設定した日時
- ・場所 各協議会、委員会等が設定した場所
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 各協議会、委員会等に出席した対象者

3 運営体制等

(1) 役員は11名体制のもとに、理事長を中心に事業計画・予算等の主要な方針を決定するとともに、川崎市との政策懇談会、シンポジウムの実施等の当NPO法人の重要な具体事業において主要な役割を担った。

(2) 会員数 (2022年3月末現在)

団体会員19社、個人会員15人及び賛助会員2社

(3) 幹事会は、引き続き次の7社で運営した。会合は新型コロナウイルス感染症対策のためMicrosoft Teamsを使用したWebでの開催が多く(4月、6月、7月、9月、1月、3月)、1月は、対面とオンラインのハイブリッドで開催をした。当NPO法人の事業活動の企画・運営全般にわたり協議、意見交換を行い、事業の円滑かつ効果的な推進に努めた。

- ・幹事長 (株)デイ・シイ
- ・副幹事長 ENEOS(株)、
- ・幹事 JFEスチール(株)、東亜石油(株)、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、(株)浜銀総合研究所、

2021年度主な事業の実施経過

特定非営利活動法人産業・環境創造リエゾンセンター

2021年4月1日～2022年3月31日

<4月>

- 14日(水) 第1回リエゾン交流視察会開催(通算第44回)
(新川崎創造のもり ロボット・IoTベンチャー企業 イクシス社他)
- 20日(火) 第1回川崎市・リエゾンセンター情報交換会開催
- 27日(火) 第1回幹事会(オンライン)開催

<5月>

- 12日(水) 小澤監事による監査
- 18日(火) 第1回理事会(通算第69回)・第17回通常総会・記念講演会開催
- 19日(水) 会員及び川崎市関連部局宛てに月例の情報共有メールを配信

<6月>

- 10日(木) 会員及び川崎市関連部局宛てに月例の情報共有メールを配信
- 24日(木) 第2回幹事会(オンライン)開催

<7月>

- 9日(金) 会員及び川崎市関連部局宛てに月例の情報共有メールを配信
- 16日(金) 第1回川崎臨海部防災協議会(書面開催)に対応
- 20日(火) 第3回幹事会(オンライン)開催

<8月>

- 3日(火) 会報発行(第40号)
- 6日(金) 市民交流事業 夏休みオンライン親子工場見学会を開催
(㈱クレハ環境が受入れ協力)
- 11日(水) 会員及び川崎市関連部局宛てに月例の情報共有メールを配信
- 27日(金) 第1回リエゾン研究会開催(オンライン)
東京電力パワーグリッド㈱、総合警備保障㈱より話題提供

<9月>

- 7日(火) 第4回幹事会(オンライン)開催
- 10日(金) 会員及び川崎市関連部局宛てに月例の情報共有メールを配信
- 14日(火) スマートライフ大賞選考委員会(オンライン)に理事長・専務理事出席
- 29日(水) 第2回リエゾン研究会(オンライン)開催
(㈱クレハ環境より話題提供)

<10月>

- 7日(木) 会員及び川崎市関連部局宛てに月例の情報共有メールを配信
- 11日(月) 第1回川崎臨海部活性化推進協議会開催
- 13日(水) 第2回低CO₂川崎ブランド推進協議会に理事長・専務理事出席
- 20日(水) 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会(オンライン)開催
- 20日(水) 川崎市港湾整備負担金に伴う環境整備事業説明会(オンライン)開催

28日(木) スマートコンビナート・シンポジウム 2021 (第12回) 開催

<11月>

4日(木) 市民交流事業 オンライン大人の社会科見学会開催

味の素がオンライン見学を受入協力

11日(木) 川崎市との政策懇談会(オンライン)開催

12日(金) 会員及び川崎市関連部局宛てに月例の情報共有メールを配信

16日(火)~26日(金) 第14回国際環境技術展(オンライン)に出展

19日(金) 会報第41号発行

23日(火)(祝日) 「かわさき市民交流 Day」(川崎区企業市民交流事業推進委員会主催)
に出展

25日(木) 第2回川崎臨海部防災協議会に専務理事出席

30日(火) 循環型地域社会形成に向けた環境産業との連携連絡会議開催

30日(火) 川崎市地球温暖化対策推進基本計画の改定に関する説明会開催

<12月>

8日(水) 会員及び川崎市関連部局宛てに月例の情報共有メールを配信

9日(木) 第3回リエゾン研究会(オンライン)開催

東京ガス(株)より話題提供

2022年

<1月>

13日(木) 第5回幹事会(オンライン)開催

14日(金) 会員及び川崎市関連部局宛てに月例の情報共有メールを配信

<2月>

2日(水) 第4回リエゾン研究会(オンライン)開催

JFEエンジニアリングより話題提供

10日(木) 会員及び川崎市関連部局宛てに月例の情報共有メールを配信

<3月>

9日(水) 会員及び川崎市関連部局宛てに月例の情報共有メールを配信

17日(木) 第5回リエゾン研究会(オンライン)開催

浜銀総合研究所より話題提供

17日(木) 第6回幹事会開催

18日(金) 川崎市臨海部広域防災訓練に参加

25日(金) 第2回川崎臨海部活性化推進協議会開催

29日(火) 第2回理事会(通算第70回)・政策懇談会(オンライン)開催

31日(木) 会報発行(第42号)

2021年度活動計算書

2021年4月1日～2022年3月31日

(単位：円)

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター		
科 目	当初予算①	決算額②	差額①-②
I 経常収益			
1. 受取会費	5,980,000	5,980,000	0
・団体会員	5,700,000	5,700,000	0
・賛助会員	100,000	100,000	0
・個人会員	180,000	180,000	0
2. 受取寄附金	0	0	0
2. 事業収益	2,718,000	2,718,800	-800
・川崎臨海部産学公民連携事業	899,000	899,800	-800
・スマートコンビナート情報発信交流事業	1,819,000	1,819,000	0
3. その他収益	0	79	-79
・雑収益	0	79	-79
経常収益計 (A)	8,698,000	8,698,879	-879
II 経常費用			
1. 事業費	3,707,000	3,302,394	404,606
①自主事業	1,295,000	612,726	682,274
(1) 産業活性化及び環境保全に関わる調査・研究事業	393,000	24,028	368,972
ア. リエゾン交流会事業費	316,000	4,028	311,972
・業務費 (会議費、謝金等)	266,000	4,028	261,972
・諸経費 (通信、印刷等)	50,000	0	50,000
イ. リエゾン研究会	77,000	20,000	57,000
・業務費 (会議費、謝金等)	62,000	0	62,000
・諸経費 (通信、印刷等)	15,000	20,000	-5,000
(2) 産業活性化及び環境保全に関わる普及・広報事業	902,000	588,698	313,302
ウ. 普及・広報事業費	802,000	585,698	216,302
・シンポジウム開催経費	494,000	420,698	73,302
・ホームページ経費等	298,000	165,000	133,000
・会報発行経費	10,000	0	10,000
エ. 研究調査事業費 (情報交換会)	100,000	3,000	97,000
・業務費 (会議費、謝金、外注費等)	100,000	3,000	97,000
②受託事業	2,412,000	2,689,668	-277,668
(3) その他この法人の目的を達するために必要な事業	2,412,000	2,689,668	-277,668
ア. 川崎臨海部産学公民連携事業	765,000	1,018,408	-253,408
・人件費	100,000	130,000	-30,000
・業務費 (会議費、謝金、外注費等)	621,000	856,414	-235,414
・諸経費 (通信、印刷等)	44,000	31,994	12,006
イ. 臨海部スマートコンビナート等情報発信・交流事業	1,647,000	1,671,260	-24,260
・人件費	1,400,000	1,560,000	-160,000
・業務費 (会議費、謝金、外注費等)	184,000	25,000	159,000
・諸経費 (通信、印刷等)	63,000	86,260	-23,260
2. 事務局運営費	6,069,000	5,776,995	292,005
①人件費	4,752,000	4,513,767	238,233
・役員報酬	2,460,000	2,478,948	-18,948
・職員給与	1,500,000	1,386,719	113,281
・法定福利費	792,000	648,100	143,900
②その他経費	1,317,000	1,263,228	53,772
・什器備品費	163,000	6,228	156,772
・事務費 (印刷、通信等)	17,000	21,059	-4,059
・賃貸料 (事務所他)	284,000	290,769	-6,769
・旅費交通費	452,000	441,871	10,129
・雑費	133,000	225,951	-92,951
・税理士報酬	198,000	207,350	-9,350
・法人税等	70,000	70,000	0
3. 予備費	700,000	0	700,000
経常費用計 (B)	10,476,000	9,079,389	1,396,611
III 当期正味財産増減額 (A) - (B) = (C)	-1,778,000	-380,510	-1,397,490
前期繰越正味財産額 (D)	5,679,180	5,679,180	0
IV 次期繰越正味財産額 (D) + (C)	3,901,180	5,298,670	-1,397,490

計算書に対する注記

1. 各受託事業の人件費は職員給与の一部である。